

- 地域の熱意と支援（負担）を示し、実行することが、民間の交通事業者の協力・支援を得るための条件。

知恵袋

目に見える形で「住民の熱意」を示すことにより、予算が確保しやすい環境を整えた

⇒ **地域や自治体の熱意と行動により地方鉄道を再生【和歌山県和歌山市・紀の川市】**

- ・ 存続のために税金を使うからには、多くの住民の熱意を示さなければ、予算は確保しにくい。
- ・ 貴志川線の未来を“つくる”会では、「多くの住民が存続を願っていることを示すために、お金を払ってでも存続を希望する住民＝年会費を支払う会員」と捉え、有料会員を増やす努力を行った。
- ・ その結果、多くの会員を集めることができ、目に見える形で「住民の熱意」を議員等に出すことができた。

知恵袋

身近なネットワークやマスメディアの活用による会員拡大と、新たなイベントなどを通じた機運維持

⇒ **地域や自治体の熱意と行動により地方鉄道を再生【和歌山県和歌山市・紀の川市】**

- ・ 貴志川線の未来を“つくる”会は、家族やサークル、区長会など身近な人的ネットワークを活用して、存続を訴え、会員数を増やしていった。
- ・ また、偶然性があるとはいえ、テレビ放映により、より多くの住民が存続に関心を寄せ、会員の爆発的な増加と存続機運の高まりにつながった。
- ・ 新たな交通事業者のもとで再生に成功した後も、会員をつなぎとめ、機運を維持するために、交通事業者とともに、失敗してもよいから、数多くの新たなイベントを施している。

知恵袋

鉄道沿線の複数の自治体が、鉄道活性化のための一元的な窓口を設置

- ・ 北勢線（三重県）は、近畿日本鉄道が経営していたが、累積赤字を理由に近鉄が廃止の意向を打ち出したため、沿線自治体の支援により三岐鉄道が経営を継承した。
- ・ 沿線自治体は、北勢線担当の専門部署である「北勢線対策室」を設置し、そこに沿線自治体の職員が常駐している。
- ・ 専門かつ常設の部署があることは、鉄道事業者にとっても自治体との円滑な協議・調整や、信頼関係を確立する上で効果的な取組であると評価されている。（三岐鉄道㈱(三重県)）